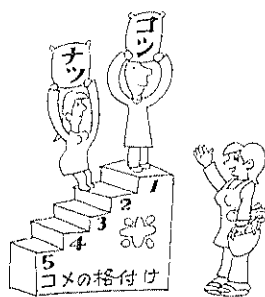


3おる農業の委員会です。

ナツヒカリ2類昇格

多い今後の課題



新米に まだ草の実の匂い哉 蕪村
『さすが農業委員会や、レベルが高い』『レベルじやのうてラベルせよ』地元・高知新聞の崎山香長支局長との雑談の中で最年少の農業委員武市忠雄さん(38歳・篠原)が言いました。稲作一筋の彼ならばこそ「はり札やレッテル」でないことは確かです。
『蕪村にそんな句があったかよ』『げにいい得ちゆうねや』百

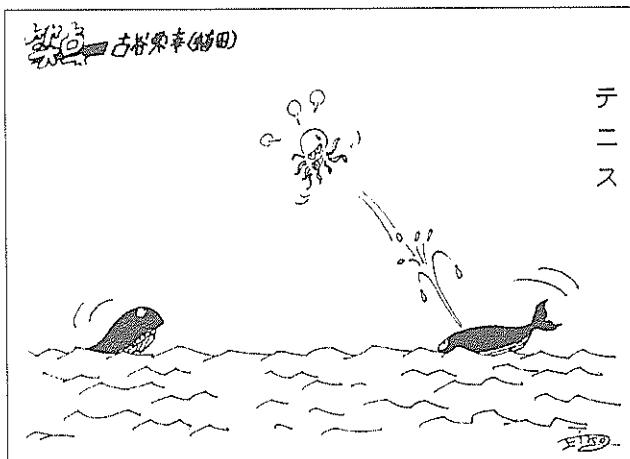
姓「ならばこそ味わるる含蓄のある句ではないでしょうか。超早場米の刈り取りの始まった七月二十七日、食糧庁はナツヒカリの2類昇格を決定しました。『農家の生産意欲にも弾みがつくぜよ』『南国土佐にもおいしいコメがあることを広めていきたい』そんな願いが膨らんでいます。

食糧庁は昨年、全国に三百品種以上あるコメの品種について「勤務評定」をしました。コメは1類から5類までにランク付けされていますが、この基準は「品質・食味・数量」などで決められます。消費者の好ましいコメ志向が反映されるといわれています。格上げより格下げが多いなかで、高知のコシヒカリが2類から1類に昇格し

たことは、消費者によるこぼれるコメの証だといえます。これから、格下げされることはあっても格上げされることはない。ことを肝に命じて対応策をたてなければなりません。

農業委員会は、コメ専門部会(田中隆吉部会長)を中心に調査・研究を深めています。

▽銘柄を統一する。▽作付面積をふやす。▽早進化を図る。▽栽培技術を高める。▽ブランド化を図る。▽有利販売につなげる。など、課題はたくさんあります。



農業者、農業関係団体と共に知恵を出し合って、歩きながら考え、考えながら歩いて「いきたい」思います。

南国歌壇

枯るる木に新芽出つるを求む如
難しと決めて吾も征かなむ
久枝 徳久 昌男
熱帯夜つづきて星のなき空を
見すえて廻る空港の灯は
立田 島田美津子
雨ふらずうだる暑さにうるおい
をとろけるような白桃の味
立田 国繁 和子

九十三歳のわが母を「照子サン」と呼ぶやさしき看護婦の白衣目に沁む 西野田 吉川 定子
古里の苔むす君の墓標には
少年飛行兵十七才とあり
西山 岩貞健一郎
真帆張りて朝のあらせに沖にでる 子鯨釣りし昔おもほゆ
浜改田 西村 繁行

南国柳壇

この炎暑さ老の脳味噌こげついで 西山 竹村 寿賀
ぼけよけに日々商いの楽しくて
立田 北村 幸江
戦友呼べど潮騒空し敗戦忌
十市 沢村 鶴一

南国俳壇

饒舌の果蠅虫の眼とあえり 溝淵由紀男(岩村句会)
点滴の液洩れており秋立つ日 島崎 洗一()
花桔梗あの師この師と遠くなり 北岡 高子()
落つるとき一際光り草の露 岩城 鹿水(柿の実会)
濃く淡く鉛筆書きの夏だより 杉本たけし()
新涼や窓といふ窓開け放ち 橋本きよ女()
梅雨晴れやゆっくり昏れて寺の塀 栗田 宥生(梵鐘俳句会)
朝顔によるべの竹を継ぎ足して 高橋 以登()
堂と堂つなく渡殿大夏木 竹内 紀子()